

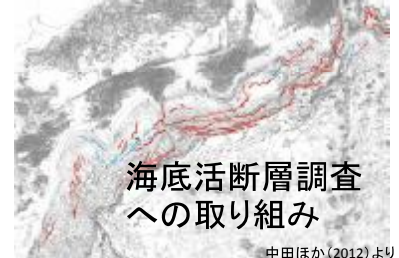
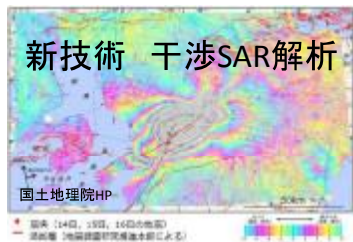
◆活動目的：低頻度巨大災害の被害軽減を実現させるため、活断層に関する基礎研究の推進、多分野間の連携強化による総合的研究の推進、成果の普及と防災・減災という観点からの情報発信を通じた社会貢献、ならびにそれらを担う人材の育成

◆設立：2007年9月22日（2017年1月27日 一般社団法人化）

◆正会員数：277名

◆歴代会長：

岡田篤正	2007～2009年度
島崎邦彦	2010～2011年度
中田 高	2012～2013年度
岡田篤正	2014～2015年度
熊木洋太	2016～2017年度
佐竹健治	2018年度～



◆学術誌「活断層研究」：  
1985～2006（活断層研究会刊行）  
2018年3月 第48号刊行

## 2016年熊本地震への対応

- ◆ 緊急調査（調査者間の連絡調整、学会内外への情報発信）
- ◆ 地元との連携（天然記念物指定の要望、現地調査の申請窓口設置）
- ◆ 防災学術連携体を通じた情報発信



## 学会員による活動

- ◆ 活断層評価（地震本部）、活断層図整備（国土地理院）への参画
- ◆ 民間調査会社による観測データ公開
- ◆ 構造物の被害要因調査
- ◆ 強震動モデルの再検討
- ◆ 活断層防災の政策論



2016年熊本地震県道28号線横山トンネルの被害状況（撮影：小長井一男）